

目標達成計画

作成日: 令和 4年 3月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員の力量を把握しながら積極的に研修を受けてもらえるように声掛けしたり、向上していくように努めているが、時間が取れなく内部研修を企画止まりで終わっている事もある。内部研修をどのように企画し行うかが課題である。	内部研修をする事で職員一人ひとりのケアの向上を図る。	実際にとぎしの家でのケースを基に事例検討を行う。事例検討の中で必要な項目を組み入れて行く。(例えば、権利擁護・リスクマネジメント・接遇等々。)内部研修で学んだ後、研修の感想やケアの振り返りも合わせて行う。	12ヶ月
2	35	コロナ禍の影響もあり、以前のように災害が起きた時に地域の住民の方に協力を得られるような関係性が出来ていない状態である。夜間の避難訓練や原子力防災訓練の話し合いも必要である。	ご利用者の方々が安心して暮らせる。	住民の方々に協力を得られるような関係性をつくる為には何が必要か職員で話し合い実行していく。とぎしを家の現状を知って頂く機会をつくる。(例えば、自治会の常会に参加させて頂き情報をお話する等々。)特に夜間は手薄になるので、夜勤をする職員で夜間の避難訓練を行う。原子力防災訓練に関しては情報収集を行い職員で話し合う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。